

# 2012 国際協同組合同年福島県実行委員会発足呼びかけ趣意書(案)

## 1. 発足に向けての背景と趣旨

国連では1957年より「国際年」を設け、共通の重要テーマについて、各国・世界全体が1年間を通じ呼びかけや対策に取り組んでいます。2009年12月の総会では、2012年を『国際協同組合同年』(International Year of co-operatives=IYC)とすることを宣言しました。

これは、協同組合がもたらす社会経済的発展への貢献が国際的に認められた証であり、特に協同組合が貧困削減・仕事の創出・社会的統合に果たす役割が着目されています。

2012年国際協同組合同年は、世界の抱える貧困、金融・経済危機、食糧危機、気候変動などをはじめとする現代社会の重要課題の解決に向けて協同組合が大きな役割を果たすことが期待されています。

特に、本県においては大地震・巨大津波、原発事故での放射線問題、風評被害という「複合震災」に見舞われ、震災後100日を経過した現在でも依然として苦しみから脱することができないでいます。

このような状況の中、今こそ地域における協同組合の役割発揮と貢献が必要であり、同じ痛みを知る福島県人として地域住民、全ての企業・団体が今こそ一致団結し、本県の復旧・復興に取り組むことで、この難局を共に乗り越える必要があります。今こそ、組織の結集、協同の力、絆の力をフルに発揮し、協同組合こそが地域と農林水産業を支え再生する原動力になるべきです。

協同組合陣営はもとより、県内企業・団体、個人など、幅広く多くの方々の賛同をいただきながら県民総ぐるみの実行委員会を設立し、実践に向けて取り組みます。

## 2. 実行委員会の役割

- (1) 国際協同組合同年に関する「福島県での行事開催」に関すること。
- (2) 「2012 国際協同組合同年」に向け、現代社会において協同組合が果たしている価値と役割等に関する広報活動の展開。
- (3) 福島県の復興と再生に向けた共同の取り組みに関すること。
- (4) 全国段階と本県との取り組みにおける連絡調整。
- (5) そのほか、この会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

## 3. 当面の活動計画

- (1) 「2012 国際協同組合同年」運動に向けた、実行委員会の発足と参加への呼びかけ。
- (2) 10月開催予定の実行委員会設立総会開催準備および関連イベントの企画・運営。

2011年7月2日

2012 国際協同組合同年福島県実行委員会参加呼びかけ人代表

福島県農業協同組合中央会 会長 庄 條 徳 一

福島県漁業協同組合連合会 会長 野 崎 哲

福島県森林組合連合会 会長 國 井 常 夫

福島県生活協同組合連合会 会長 熊 谷 純 一